

## 重点テーマ(案)の取り組みの強化・加速を図るために (議論のたたき台)

### (1) 集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

- ・集落活動センターの取り組みは、本県の中山間対策の柱となる施策
- ・現在15カ所が開所。10年間で130カ所程度の展開を目指す中で、取り組みを加速化することが不可欠
- ・国においても、「小さな拠点づくり」に向けた取り組みを推進するための動きが活発化

#### ○集落活動センターの取り組みを加速させるためには、何が必要か。

■市町村の支援のあり方について

■地域の方々に「意欲」や「やる気」を持ってもらうためには、どうすべきか。

■集落活動センターの立ち上げや取り組みを円滑に進めるためには、どうすべきか。

■目標設定はどうか。

#### ○集落活動センターの取り組みを持続させていくためには何が必要か。

■集落活動センターの経済活動を強化する方法について

■補助終了後（3年間）の支援について

## **(2) 高齢者等が生活用品等を容易に確保できる仕組みづくり**

- ・過疎化が進む中、宅配サービスによる生活用品を提供する新たな仕組みづくりを行う地域が現出（大豊町、仁淀川町）
- ・国において、「中山間地域の物流の仕組みづくり」に向けた検討会を立ち上げるなど、物流事業者等と連携した生活用品の確保に向けた新たな仕組みづくりの動き

■現状の移動販売などのあり方を再検討する必要はないのか。

■どのように取り組みを進めていくのか。

### (3) 中山間の産業づくり（拠点ビジネスと小さなビジネスの推進）

- ・ 中山間地域で暮らし続けるためには、一定の収入が必要
- ・ 中山間地域で産業づくりを効果的に進めるためには、中山間地域の特性や強みを生かした都会にないビジネスを推進し、収入アップや若者の雇用創出につなげることが必要
- ・ キャラ（地域特性）を生かしたビジネスプランの提案も必要

○小さなビジネスの取り組みの強化するためには、何が必要か。

■小さなビジネスに対して、今後、どのように取り組むのか。

○拠点ビジネスの取り組みを強化するためには、何が必要か。

■拠点ビジネスに対して、今後、どのように取り組むのか。

#### (4) 中山間の未来を担う人材の育成・確保

- ・今後、人口減少や高齢化の進行が加速化することが懸念される。
- ・将来にわたり中山間地域の機能を維持していくためには、その原動力となる“人”の存在が不可欠
- ・地域の将来を担う人材等を育成するとともに、地域外からも、こうした人材を積極的に確保していくことが重要となる。

○中山間地域では、どういった人材が必要か。

■必要な人材とは

○人材の育成の現状はどうか。

■産業づくりの分野の人材について

■地域づくりの分野の人材について

■産学官民との連携をどうすすめていくべきなのか。

○いかにして人材を確保していくか。

■地域外から積極的に人材を呼び寄せるためには

## (5) その他のテーマの提案